

帷子小



秋に、敬老会「和み会」の皆さんと、子ども会の6年生で、公園と集会所の花壇に花を植えました。その後、フィンランド発祥の軽スポーツ「モルック」を、和み会の皆さんと子ども会のみんなで楽しむことができ、地域の方たちとふれあえる良いイベントとなりました。



南帷子小

新型コロナウイルスの影響で、活動内容に制限のあった子ども会ですが、本年度から、制限のない状態で再開することができ、子どもたちの元気いっぱいの笑い声や笑顔が戻ってきました！

季節に合わせた様々なイベントを通じて、異学年交流や、保護者や地域の方々とも触れ合い、充実した活動ができました。

南帷子子ども会は、子どもたちにとって、大切な居場所であり、絆を深める拠点となっています。

他にもインリーダー研修会や六年生を送る会などがあり、子ども達が主体となって活動できる場がどんどん広がっていきます！



子ども会の活動を通して、
みんなで楽しい思い出を作れました。

子ども会をもっと楽しく!!

可児市子ども会広報誌

2025. 3 March
令和7年3月発行

子ども会ニュース

日頃は子ども会活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

本年度は祭りやレクリエーションなどの様々な行事を通して子どもたちは異学年の子や地域の方々との交流ができました。行事を通して成長する子ども達の姿を見ていると改めてコミュニケーションの積み重ねが大切だと感じました。可児市子ども会育成協議会は、子どもたちのために活動してくださる子ども会役員の皆様が今後も活動の継続ができるよう支援していきます。



可児市子ども会育成協議会

可児市子ども会育成協議会は

子ども会運営を楽しく行う役員さんによる役員さんのための組織です。

子ども会活動を
安心安全に
行うには



行事の計画準備の段階で
KTY(危険予知トレーニング)を行うと、
活動中の事故を防ぐことができるのよ。

KYTって何？

K

(危険)
どんな危険があるか？

Y

(予知)
その危険で
何が起るか？

T

(トレーニング)
みんなで一緒に
危険の回避方法を
考える。

など、みんなで・・・行っています。

KYTは活動中のけがや物損をなくす
大切な取り組みです。

可児市子ども会育成協議会



旭小

春まつり

姫治地区では旭小学校区では4月に神社で春まつりが開催されます。今地域では子ども神輿に合わせて子ども達が笛や太鼓をたたきます。今公民館にてお楽しみのもち投げは地域の皆様で楽しみました。

下切では、姫川に沿って神輿を八幡神社まで進めました。

大森神社も笑顔がいっぱいでした。

お天気になって良かったです。



今渡南小

本年度、それぞれの単子でたくさんのイベントが行われました。

毎年、今渡南小学校区では、下恵土自治連合と子ども会共同でボールゲーム大会が行われています。各単子対抗で高学年、低学年に分かれて開催しています。

どこの子も負けないようにすごく楽しんでいました。とてもいい思い出になったと思います。



土田小

本年度はそれぞれの地区でお祭りやお楽しみ会など活動する事ができました。渡地区の伝統行事おおくりどでは、太鼓を叩きながら自治会の方達と一緒に歩きました。子ども達が通るのを楽しみに待ってくれる方もいて、地域の方たちと交流ができました。

ボウリング大会などもみんなで楽しみました。

いい思い出がたくさん作れました。



今渡北小

本年度はコロナ禍より中止になっていた春祭りが再開された地区もありました。

「ワッショイ！」元気な子ども達の声が町中に響きました。夏祭り、クリスマス会など、一年を通して楽しく活動することができました。花いっぱい運動では地域のためにどの子も一生懸命清掃活動をしました。



子ども会活動の紹介

帷子小

南帷子小

広見小

土田小

今渡南小

今渡北小

旭小

広見小

夏休みは寄ってくる蚊と戦いながらラジオ体操をしました。

わからないところはお互いに横目で見ながら行っている姿が微笑ましかったです。

また9月にお楽しみ会を行いました。マジックショーを楽しみ、バルーン作りを体験させてもらいました。

積極的な低学年の子どもたち、ちょっぴり恥ずかしさも出てくる時期の控えめな高学年の子どもたち。成長の変化を感じる場面でした。

その後は風船割りゲームをしました。風船の中に何等賞や残念賞と書かれた紙が入っているので、風船を割って景品をゲット。臆する事なく割っていく子、恐る恐るな子、どうしても難しい場合は役員が助けるなどをしてみんなで賑やかな時間を過ごしました。

